

科目名	在宅看護学特別研究Ⅲ Research ProjectⅢ in Home Care Nursing		担当教員 (研究室番号)	日比野直子		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	4 (60)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
											遠隔授業	一部
科目 目的	収集したデータを分析・考察し、修士論文として完成させる。また、論文発表会において成果を発表し、質疑応答に対応する。											
ディ プロ マ・ポ リ シー (DP)	主要なDP	5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。										
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、現場のさまざまな課題について探究する能力を修得している。										
到達 目標	1. 収集したデータを適切な方法で分析することができる。 2. 分析結果について丁寧にかつ見やすい図や表により提示することができる。 3. 収集データや分析結果を客観的な視点から考察し、修士論文としてまとめることができる。 4. 論文発表会および修士論文審査・最終試験の準備をすることができる。 5. 論文発表会および審査最終試験での指示事項について最終提出論文に反映することができる。											
成績評価方法 (基準)	修士論文 (80%)、論文発表会での発表 (20%)											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時提示する。											
受講者への メッセージ	在宅療養者と家族・介護者、地域・在宅の看護職にとって役立つ研究を実施し、今後の看護実践の根拠にしてください。											
備考	論文審査および最終試験に申請し、この合格をもって本科目の単位修得とする。											
学 習 内 容												
【到達目標 1 について】 ・収集したデータについて研究目的に整合した適切な分析の仕方を学修する。 【到達目標 2 について】 ・分析結果を示す図表の作成方法を学修する。 【到達目標 3 について】 ・得られた結果を主観に捉えるだけでなく、多くの先行研究をもとに客観的な視点から捉える必要性和その言語的表現方法を学ぶ。 【到達目標 4 について】 ・論文発表会で報告するための資料（パワーポイント）を作成するときの注意事項について学ぶ。 ・発表会等での想定される質問とその回答について準備をする。 【到達目標 5 について】 ・論文発表会や審査および最終試験で指摘された内容のうち、修正が可能な内容を最終提出論文に反映する。 【各到達目標の共通事項】 ・結果の分析や論文作成の過程では、論文指導教員等から指導や助言を受け、より完成度の高いものにしていく。												